

研修旅行行程記

～都心の直通運転～



↑相互直通運転を行う京急 2100 系と京成 3400 系(京急品川駅)

1.はじめに

こんにちは。当鉄道研究部では、毎年テーマを決めて、夏休みに研修旅行を行います。今年のテーマは「直通運転」ということで、東京、埼玉へと行きました。それでは、本文に入りたいと思います。2017年研修旅行スタートです。

2.出発～集合・・・眠い

朝の起床がいつもより早く、5時半。なぜこんなに早いのか自分でもわからない。前日の鈴鹿8耐をぶっ通しで見続けたのに。

ちなみに筆者は TeamGREEN(Kawasaki)ファンである。急いで(なぜ急いだのかわからない)メロンパンを口に押し込み、最寄りの駅まで歩いて行った。

そして京都駅に着いたはいいが、部員&顧問先生の居場所がわからない。筆者は昨年の研修旅行に参加しておらず、京都集合が初めてだったので、場所も正確に把握していない。エスカレーター上がって振り返ったら近鉄特急いるし…。そして5分ほどさまよった挙句、部員一同と合流できた。めでたしめでたし。そういえば昼食は？部員達はコンビニなどで購入している。品川で食べる予定になっていたはず

だが？しかし品川で食べる時間がないそうなので、急いでサンドイッチを買ってきた。また、集合に遅れてきた部員もおらず、幸先の良いスタートが切れたようだ。

3. 京都→品川(列車撮影タイム)・・・筆者を襲う悪魔

筆者は京都駅で部長に頼まれたことがあった。品川駅のコインロッカーの空き状況を調べる事。空き状況を調べられることを知らず、驚いた(まず私はほとんどコインロッカーを使わない)。なんだかんだで品川にはあつという間に着いた。結局空いているコインロッカーが撮影場所と真逆。歩いて移動した。そ



して、ロッカーに荷物をぶち込んだ後、JR組と京急組で別れた。筆者は引率の都合で京急組になった。撮影は部長とともにいった。いざ京急品川駅に入ると列車が詰まっている。北総線内で事故があったようだ。そう、あの有名な「逝つとけダイヤ」発動中である。列車に案内放送が追いついていない。筆者興奮するも、何故かこのタイミングで片頭痛に襲われる。アアアアアアアアア。お茶を買ってきて薬を飲む。このときは本当に酷かった。持病は辛いですよ。しばらく撮影を中止していたが、

復帰。と言っても数分しかない。撮れるだけ撮影しようとしたらなんと最古参800型とニューフェイス新1000型がならんでいるではないか！撮影を終えたのち部員一同を引き連れてロッカー前へむかう。



4. 京急取材～宿

全員がそろったので京急の取材へと向かった。このとき、運よく Blue Sky Train にあたった。筆者のテンションが少し上がった。そして、泉岳寺でおり、壁際で待



機。しばらく待つと社員の方がいらっしゃり、取材場所まで案内していただいた。なんと入口が地下にあった。会議室まで案内していただき、部長の挨拶より取材開

始。と、ここでまさか社員さんの口から「逝つとけダイヤ」が出るとは思わず、何人か笑っていた。とてもおもしろく、分かりやすい取材をさせていただいた。取材後、都営浅草線で東銀座まで移動し、東京メトロ日比谷線に乗り換えて、茅場町まで移動。東京での移動は混雑が予想されるため、

事前に5人ほどで班分けをして乗車するように決めていた。と、ここでハプニング。

乗る電車についての連絡ミスがあり、部員4人と顧問先生1名が1本早い電車に乗ってしまった。すぐに連絡をとり、次の駅で合流するよう指示を出し、無事合流することが出来た。茅場町に着いてからホテルまでは10分程だった。途中で水門があり、高1のS君と珍しいなあという話をしながらホテルに向かった。



5.夕食～就寝「ご注文はハンバーグ定食ですか？」

チェックインに少し手間取っていたが、すぐに部屋に入れた。ホテルで荷物整理などをして時間をつぶすとあっという間に1時間がたった。ロビーまで降り、中1以外は解散となった。といっても高2、高1、中3の6人で中2軍団を分割して率いることになっていたが。引率は二人で組む。僕は高1のS君と組み、中2を4人ほど引き連れて近場のレストランをGoogle先生に聞いていた。調べれば調べるほど出てくるのは居酒屋。近くにラーメン屋を見つけたのはいいが、他のグループが行くそう。更に調べると少し離れたところにジョナサンがある。地下鉄一駅分くらいの距離があるが。店の中は空いていたのですぐ席に就け、パスタを頼む部員もいたが、自分はハンバーグ定食でいいかと思い、頼んだらドリンクバーがついていた。たったこれだけで中2達から「おこちゃま～」と散々煽ら

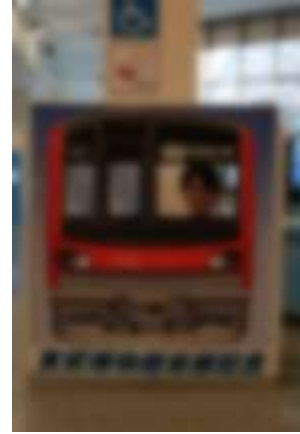


れた。威厳がない先輩って致命的ですよ。威厳のNASA、ダメ、絶対。そして、ドリンクバーが付いてきたはいいが、食事でお腹がふくれて一杯しか飲めない。中2からもったいないと言われたので飲んだ。店を出てしばらく歩くと、後ろから鞆を持った店員さんが！「誰か忘れ物されてませんか？」しかし、誰も忘れ物をしていなかった。本当に申し訳なく思う。その後コンビニによったが、筆者はじゃがりこを持参していたので今回はパス。ホテルに戻って幹部会。なぜかここで取材先での「逝っとけダイヤ」について笑っていいか笑ってはいけないかの議論が始まる。筆者としては、あれは社員さんが笑わせにきていると思っていた。笑わなかったら逆に失礼ではないかと思ったが、ここでM先生から落ち着いた一言、「面白かったら笑ったらええんちゃう？」議論終了。また、乗る列車について変更があった。その後全員参加のミーティング。諸注意と列車変更だけで済んだ。その後解散。部屋に戻って風呂に入って寝る。と言っても寝れる訳がない。

その後じゃがりこを食べつくし、することもなかったので寝た。就寝は0時前ほどだった。

6.起床～東武博物館

起床は前日より遅く6:40。まだ眠い。取材中寝ないか心配だなどと言ってる間に食事の時間。食事会場にいくも二名がいない。筆者連絡を取る。5分程で出てきた。二度寝したそう。朝食はパンと焼き魚を食べた記憶しかない。部屋に戻って準備を始めるも肝心の財布とICカードがない。探すと鞆の一番下に入っていた。前日に荷物の整理をしたのはどこの誰だ。迷惑かけた人すみません。宿を出た後、朝食時、遅刻した人から謝罪があった。しかしそこはホテルの入口。どう考えても迷惑だろなんて思いながら水天宮前まで歩いた。このときラーメン屋を二つ見つけた。水天宮前から押上まで移動し、東武に乗り換えて曳舟まで移動。やってきたのは東急車。相互直通運転を身をもって感じられた。曳舟で東武スカイツリーラインに乗り換え。東向島までは一駅だ。降りてからトイレ休憩があったので、近くの薬局に走り、お茶を購入した。そして、いざ博物館の入口まで行くと、なぜか20人程並んでいた。ほとんどが大人である。後から知ったのだが、その日はSL大樹のチョコQの発売日だったそう。その後全員で入場券を買おうとするも、最初の方に入場券を買った部員が係の方に回収されていた。そう、団体料金で入れたのだ。これは調べていなかった。入場券を購入した部員は返金されていた。館内には、東武スペーシアの個室や運転体験が出来る模型、運転シュミレーターや昔の車両、バスなどがたくさん置いてあった。部員一同楽しんでた。



東武博物館での様子

7. 東向島～東急取材

博物館を満喫した後は、渋谷まで移動。東向島で、りょうもう号に遭遇した。その後渋谷まで移動し、昼食タイム。と言ってもどこに何があるかまるでわからない。しばらく駅ビルをさまよった後、出たところにある海鮮丼屋に入った。結構おいしかった。昼食を



済ませて外に出ると、焼肉屋の煙が酷かった。集合時間まで、時間があつたので、せっかく来たということで渋谷駅前のスクランブル交差点に行くことになった。アオガエル(東急 5000 系)でも撮っていると、「よう少年たち」と声を掛けられた。

なんでも YouTuber をやっているそうで、チャンネル登録者数 10 万人超えるまで渋谷周辺でホームレス生活をするそう。その度胸には感心したが、別のことに活かせなかったのか? 「頑張れ!」と励ました。集合場所に戻るとほとんどの部員が既に戻っていた。点呼をとり、全員の集合を確認した後移動開始。東急の本社まで 10 分程。筆者が東急の車両に乗るのは、この研修旅行が初めてだった。目蒲線については存在すら知らなかった。また、社員さんの質問に正解するとプレゼントがいただけるというサプライズも。プレゼントをもらえた部員は、とてもうれしそうだった。また、内容についても東急がどのような鉄道なのかしっかり勉強できた。

8. 渋谷～茅場町(お土産タイム in 東京駅)

取材後、本社ビルの玄関前で部員全員の記念撮影。そして渋谷駅へ戻る。渋谷駅からは山手線で東京駅へ。なぜか筆者 JR に乗ってやっと東京に来たという感じがする。

たしかに筆者が東京に来たときにたいいてい利用するのは JR である。そんなことは気にせず東京駅まで移動。そして大丸の前の柱に荷物を固めてお土産購入タイム(本当なら秋葉原にいきたかった)。高 1 の N 君と一緒に買いに行った。筆者は「鳩サブレ」を購入。N 君はチョコレートか何かを買っていた。荷物置き場に戻ると三浦先生がいらっしやっただけで荷物の見張りを交代。

みんなが帰ってくるまで 20 分程かかった。全員そろったので歩いて茅場町まで帰る。なぜかという、その日に荒川で花火大会があるそう。去年は長岡花火大会の前夜祭、一去年は広島平和記念式典と、我々は何も学習していないようだ。しかし外はあいにくの雨。あれ、雨なら花火大会は中止なんじゃ? ホテルに着いた時には鳩サブレの箱がふやけてひどいことになっていた。



9. 夕食～就寝

部屋に戻ってから夕食まで 15 分。携帯の充電すらできない。貴重品をもってロビーに降りた。そして、朝の移動時に見つけたラーメン屋に入る。筆者つけ麺を頼むも足りなかったので追加で炒飯を頼ん



だ。その後コンビニにより、monster khaos と、なぜかマスクを購入。ホテルに戻ると幹部会&ミーティング。このときだけ完璧に記憶が飛んでいる。すみません。眠気に襲われていたのだろう。覚えているのが「東京の朝ラッシュは酷いから3人で班分けする」ということだけだ。部屋に戻ってさあ風呂に入り、出ようとしたら鼻血。10分程止まらない。鼻にティッシュを押し込んで何とか止血。デカイ鞆の方の荷物を整理し、例の YouTuber の動画を見てみた。頑張ってください。その後就寝。何時に寝たかの記憶すら残っていない。

10.宿～所沢・・・二度あることは三度ある・・・

起床が6時前。ということは、昨夜は早く寝たのだろう。Twitterの高槻鉄研公式アカウントでつぶやくことや、この行程記の内容などを考えていたら、すぐに朝食の時間がやってきた。会場に移動するも今度は別の二名がいない。10分程で起きてきた。朝食はオレンジジュースしか記憶に残っていない。部屋に戻って手荷物の準備。ここで筆者の靴がない。散々部屋を探した挙句、ベッドの下にあった。焦って損した。これに引き続き、同室の中2のH君も靴がないと言い出す。別の部屋から出てきたそうだ。とりあえずよかった。ロビーまで降りてチェックアウトを済ませ、茅場町から飯田橋まで東京メトロ東西線に乗車。混雑が酷いので、二列車に分乗。しかし、混雑のため日本橋で一度降りた時、中2のH君(同一人物)の靴が線路内に落ちた。急いで取ってもらって二本後の電車に乗れた。さすが東京の駅、マジックハンドが駅構内の至る所にある。飯田橋で無事合流し、東京メトロ有楽町線に乗り、直通列車で所沢まで移動した。寝ている部員が多数見受けられた。夜更かしでもしたんだろう。所沢に着いた直後、下痢に襲われた。このとき、トイレ清掃をしていた。お腹を壊した僕を察したのか、清掃の方が一つトイレを空けてくれた。ありがとうございます。20分ほどトイレから出られなかった。そして、社員さんがいらっしゃるまで待機。



11.取材～品川

西武鉄道の取材は4人程で対応して下さった。西武の社員さんは、皆さんで西武ライオンズのユニフォームを着ておられた。筆者は以前、西武秩父から池袋まで特急レッドアロー号に乗った



たことがあり、西武について調べたことがあったので、話の内容は比較的すぐに頭に入ってきた。また、非売品の本までいただいた。取材後は近場のレストランを探す。と言ってもほとんどない。近くにモスバーガーを見つけたので入る。とそこでなぜか、中2のK君がモスバーガー店舗内にマックのドリンクの容器の持ち込むという謎な事態が発生。本当によくわからない。そんな事するなど叱っておいた。筆者はダブルチーズバーガーを頼んだ。そして食事を済ませて所沢駅に戻り、他の部員の帰りを待った。しかし、飯田橋に土産を忘れたという部員がいる。取りに帰る時間もない。彼は相当悲しんでいた。ここで筆者鼻血を再発。鼻にティッシュを詰めるも見栄えが悪いので、昨日購入のマスクをした。本当にマスクを買っというよかったです。池袋に向かうとき乗車したのが「スマイルトレイン」こと西武30000系だ。疲れが出たのか寝ている部員もいた。池袋到着後は山手線に乗り換え、品川へ移動。新幹線を待っていると、OBの登場！差し入れにお菓子をいただいた。そして筆者はお腹がすいていたので、麦茶とおにぎりを購入。

12.品川～京都(解散)

新幹線では、寝る部員がいたり、西武でもらった本を読む部員がいたり、さまざまだった。また、新幹線の車内販売で、シカセンゴクタイフというものを食べた。最初は硬く、食べられなかったののでしばらく放置しておくことで液体になっていた。しかし、一つ気になったのは、中2が食べたと思われる差し入



れのお菓子の袋が大量に床におちていたことだ。明らかにポイ捨てをしたと思われる部員には注意をした。部員のみなさんゴミくらいちゃんと捨てなさい(中2軍団よ)。そうするうちに京都に着いた。改札を出て集合場所に集まると、最後のミーティングが始まる。10分もかからなかった。ミーティングが終わり次第、各自解散となった。

13.終わりに

いかがでしたか？これで2017年の高槻鉄研研修旅行は終わりです。2週間強経過してから書いたため、非常に曖昧な箇所があります(特に朝と夜)。今回の研修旅行は、三日間という例年より短い期間となりましたが、重大なハプニングも起きず、大変よい研修旅行となりました。お楽しみいただけただけでしょうか？

至らぬ事もあったと思いますが、研修旅行のプラン制作にかかわってくれた中学生、また、取材先に取材交渉などを行い、研修旅行に尽力していただいた高校生&顧問先生、研修旅行を盛り上げてくれた部員の皆さん、こちらの取材に応じていただいた京浜急行電鉄の皆さま、東急電鉄の皆さま、西武鉄道の皆さま、またお土産等をたくさん下さった東武博物館の皆さま、この場をお借りして、感謝の念を表したいと思います。本当にありがとうございました。



ここからは筆者の雑談なのですが、今年スイスに行きました。そこで、あの有名な「氷河特急」に乗ってきました。実は、この「氷河特急」もレーティッシュ鉄道とマッターホルンゴットアルド鉄道で直通運転を行っているそうです。ここでふと思ったことが。なぜ我々高槻鉄研は、海外の鉄道の直通運転について触れなかったの

か。ICE は、国同士を繋ぐ大変重要な列車でもあります。もちろん疎遠であり、予算も限られていて、取材など現実的ではありませんが。筆者の提案ですが、来年は海外についても少し触れてみてはどうか?と思いました。



長い文章に付き合っ最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

写真はすべて筆者の撮影です。